

全体目標

医師としてのマナーと心構えを身につけ、患者を中心とした医療を実践するとともに、消化器内科疾患の診断と治療に必要な基本的知識と技能を習得する。

個別目標

	1カ月、1.5カ月	2カ月以上(再ローテーションを含む) 左記に加えて下記の事項ができる
1	A 診察法 医療面接、身体(特に腹部)の診察(視診・聴診・打診・触診)ができる 適切な診療録の記載ができる	
2	B 臨床検査 一般尿検査、血液検査、糞便検査、ウイルスマーカー、腫瘍マーカー、単純X線検査、内視鏡検査、腹部エコー検査、CT、MRI検査、ERCP、腹水検査、胸水検査、細胞診、病理検査、血管造影検査に関し、適応の判断・結果の解釈ができる。	
3	C 手技 採血(静脈、動脈)、注射、腹水穿刺、CV挿入、胃管挿入、内視鏡検査の介助と一部実施、エコー検査の一部実施、CVポート造設の介助ができる。	上級医の指導の下、内視鏡のルーチン検査、エコーのルーチン検査ができる。
4	D 理解 治療計画が立てられる。 療養指導ができる。 輸液(高カロリー含む)管理ができる。 緊急処置(吐血、下血)の適応の判断ができる。 抗がん剤投与方法と副作用を理解できる。 他科(特に外科)との連携ができる。 コメディカルの役割を理解できる。 リスク管理ができる。 緩和ケアと終末期医療を理解し、基本的な症状コントロールができる。	緊急時の初期対応ができる。 抗がん剤の副作用への初期対応ができる。
5	E 経験すべき疾患 1) 食道癌 2) 食道・胃静脈瘤 3) 胃癌 4) イレウス 5) 上部・下部消化管出血 6) 大腸癌	1) 自己免疫疾患(肝・膵・腸炎) 2) 急性・慢性胃炎 3) 胃・十二指腸潰瘍 4) 急性腸炎、細菌性腸炎 5) 慢性肝炎(ウイルス性、薬剤性) 6) 慢性膵炎

7) 潰瘍性大腸炎・クローン病 8) 肝硬変 9) 肝癌 10) 胆石、胆嚢炎、胆管炎 11) 胆管・胆嚢癌 12) 膵癌 13) 急性肝炎、急性膵炎	
---	--

Strategies

- 1) ローテーション開始時にオリエンテーションを受ける。
- 2) 主治医、副主治医の指導のもと、受け持ち医として病棟で常時 3~4 人の入院患者を担当する。
- 3) 担当患者を毎日診察し、カルテに所見を記載する。
- 4) 受け持ち患者のみならず、他患者についても理解するよう心がける。
- 5) 内視鏡、エコー、血管造影などの検査に積極的に参加し、一部検査を実施する。
- 6) 教授回診では受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- 7) IC の場には必ず同席し、傾聴しつつ書記を行う。
- 8) 受け持ち患者が退院した後は速やかに退院要約を作成する。
- 9) 剖検が行われる際は、その場に立ち会い、所見を記入する。

Evaluation

- ・ EPOC II による評価
- ・ 養成コース長による評価

週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	8:00 朝回診 病棟・内視鏡	8:00 朝回診 病棟・内視鏡	8:00 朝回診 病棟・内視鏡	8:00 内視鏡カンファ 8:30 朝回診 病棟・内視鏡・エコー	8:00 朝回診 病棟・内視鏡
午後	病棟・内視鏡	病棟・内視鏡	病棟・内視鏡 15:00 教授回診 16:00 4科合同カンファ	病棟・内視鏡 17:00 消化器内科カンファ	病棟・内視鏡 15:00 教授回診